

## 取組主体の概要

- ・所在地：福島県県北地方
- ・取組主体名：ふくしまから はじめよう。攻めの農業 技術革新伊達地域協議会
- ・栽培作物・作付面積：キュウリ・8a

## 導入技術

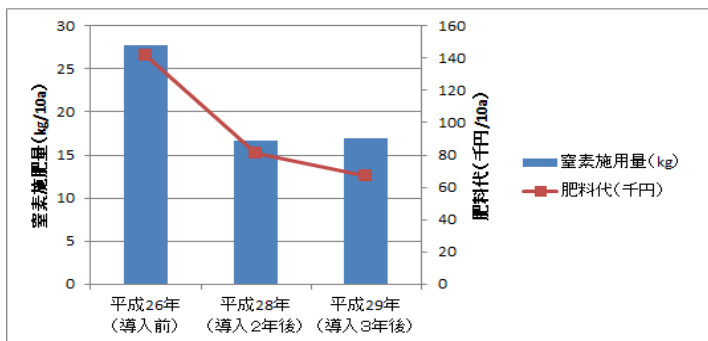
ZeRo. agri((株)ルートレック・ネットワークス製)  
 センサーによる実測値と集積されたデータに基づき、  
 適時・適量の培養液が自動供給される養液土耕システム



タブレットでの操作



コントローラーと液肥混入器



←窒素施肥量  
 及び肥料代  
 (10a換算)

## 導入経緯

- 施設栽培では露地に比べてかん水作業が多く、適切な管理をしないと収量減につながる恐れがある。
- また、新規就農者や規模拡大を目指す農業者にとって、施肥とかん水の効率化が課題となっている。
- そこで、安定生産と作業軽労化を目的に、ICT制御による溶液土耕栽培システムを平成27年に導入した。

## 取組の特徴・効果

- かん水の自動化が可能となり、システム導入前と比較して、かん水に要する労働時間及び労働費が、90%以上削減した。
- データに基づく適正施肥が可能となり、システム導入前と比較して、肥料の窒素使用量及び肥料代が40%以上削減した。
- 当実証ほ担当農家は経験が浅かったが、システム導入により収量・品質が導入前より徐々に向上した。
- 収集されたデータの分析により効果的な施肥かん水体系を構築することで、今後更なる増収が期待できる。

かん水に要する時間及び労働費の削減効果 (10a換算)

	時間	労働費	比
平成26年度(導入前)	37.9分	96,796円	100%
平成28年度(導入後)	3.2分	8,204円	8%